

木材需給動向について

令和 8 年 9 月

林 野 庁

目次

1 価格の動向

(1) 原木価格（原木市場・共販所）

ア スギ（全国）

イ ヒノキ（全国）

(2) 製品価格

2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向

(1) 製材（全国）

(2) 合板（全国）

(3) チップ（全国）

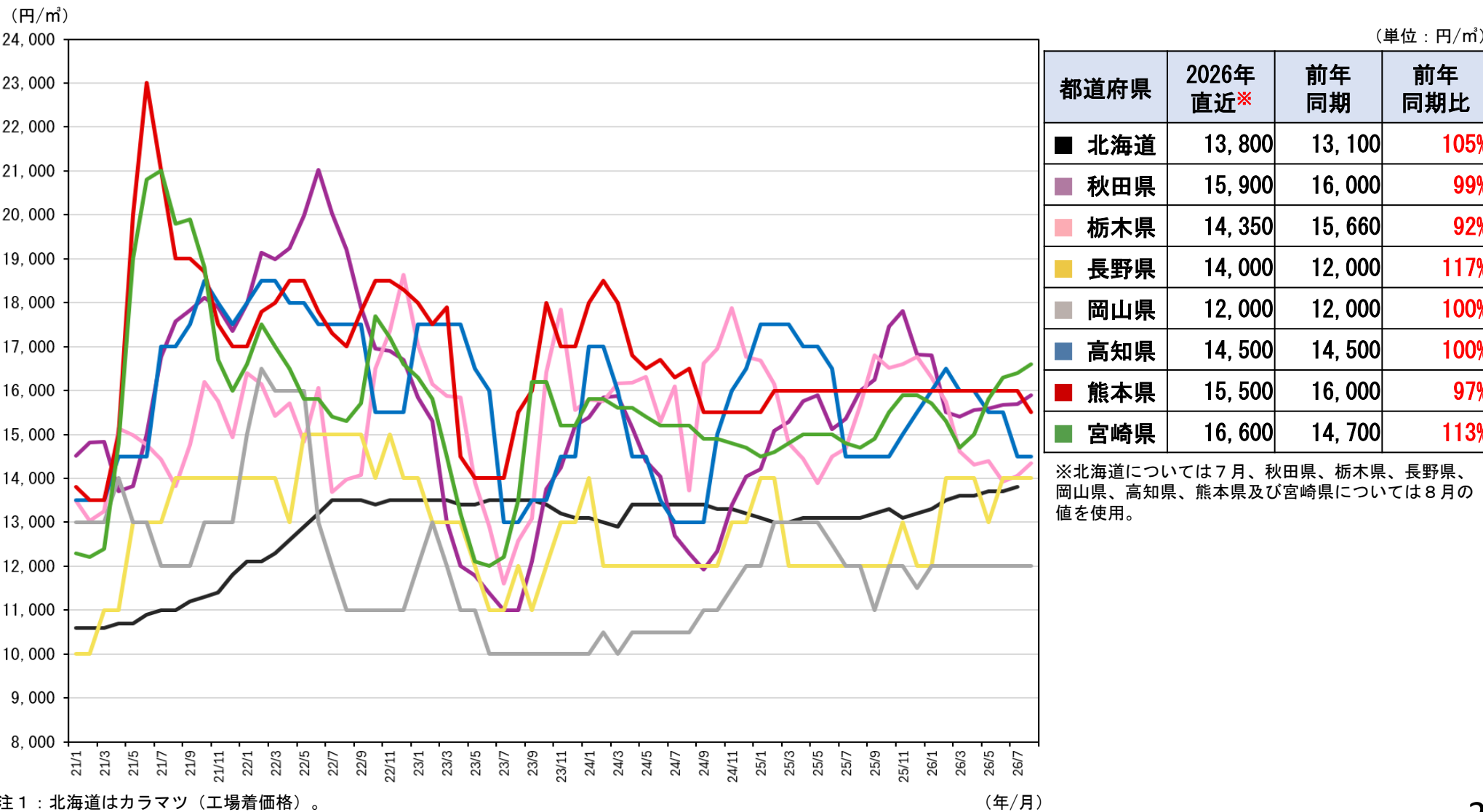
3 住宅着工戸数の動向

4 木材輸出量

5 木材輸入量

1 価格の動向 (1) 原木価格 (原木市場・共販所)
ア スギ (全国) 径24cm程度、長3.65~4.0m (2021年1月~)

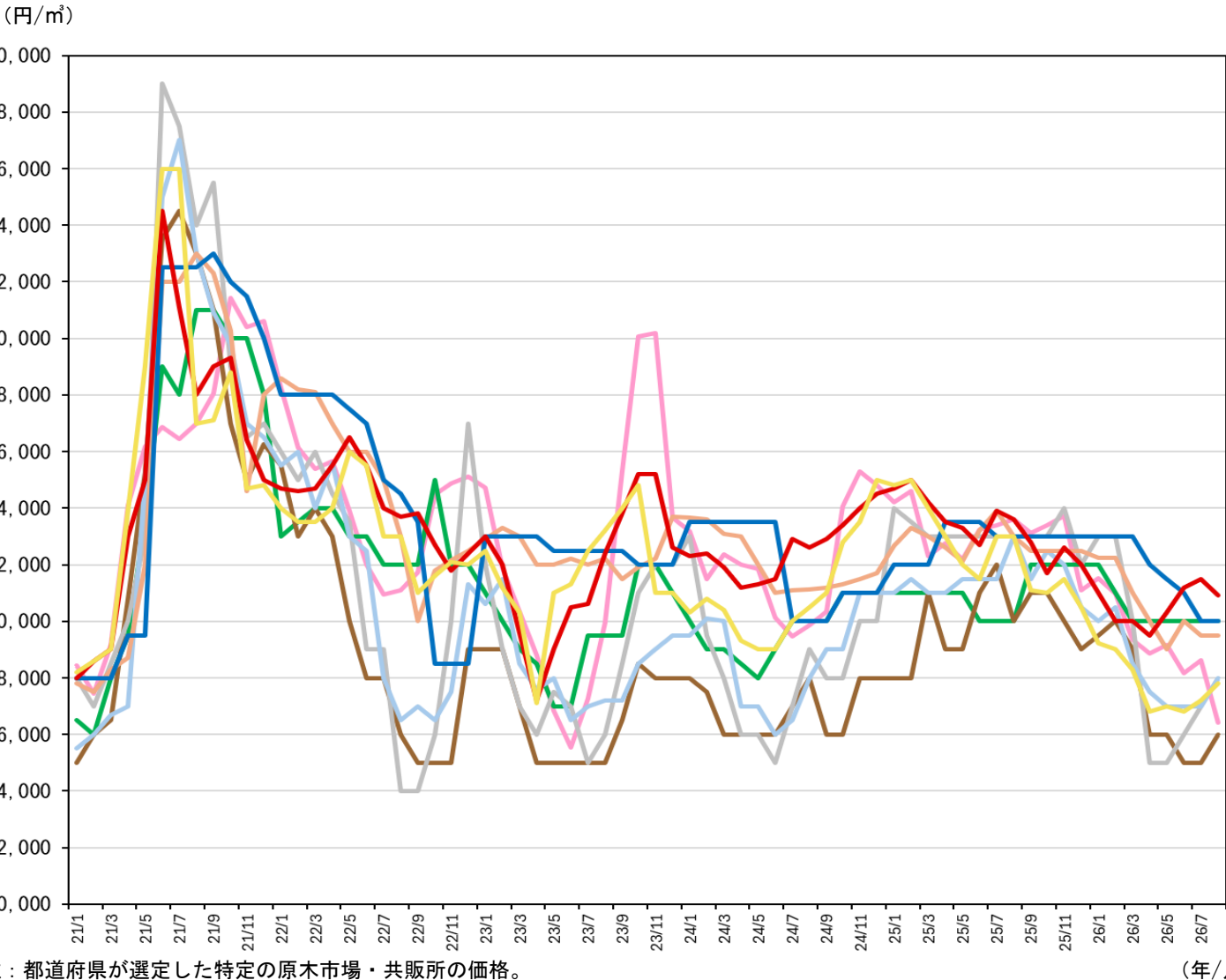
- 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、12,000円~16,660円/㎡となっている。
- 中部 (長野 117%) ・九州 (宮崎 113%) で前年より高値。一方、関東 (栃木 92%) は下落。



注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。
注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。
資料：林野庁木材産業課調べ

イ ヒノキ（全国） 径24cm程度、長3.65～4.0m（2021年1月～）

- ・ 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、16,000円～20,900円/㎡となっている。
- ・ ヒノキは全国的に前年より安値の傾向、特に関東で顕著。
※今年に入ってからからのヒノキ原木価格の下落状況の分析結果は、別添「原木需給モニタリングレポート」のとおり



(単位：円/㎡)

都道府県	2026年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	16,400	23,610	69%
静岡県	20,000	20,000	100%
兵庫県	16,000	20,000	80%
岡山県	18,000	23,000	78%
広島県	18,000	23,000	78%
愛媛県	19,500	23,000	85%
高知県	20,000	23,000	87%
熊本県	20,900	23,600	89%
大分県	17,800	23,000	77%

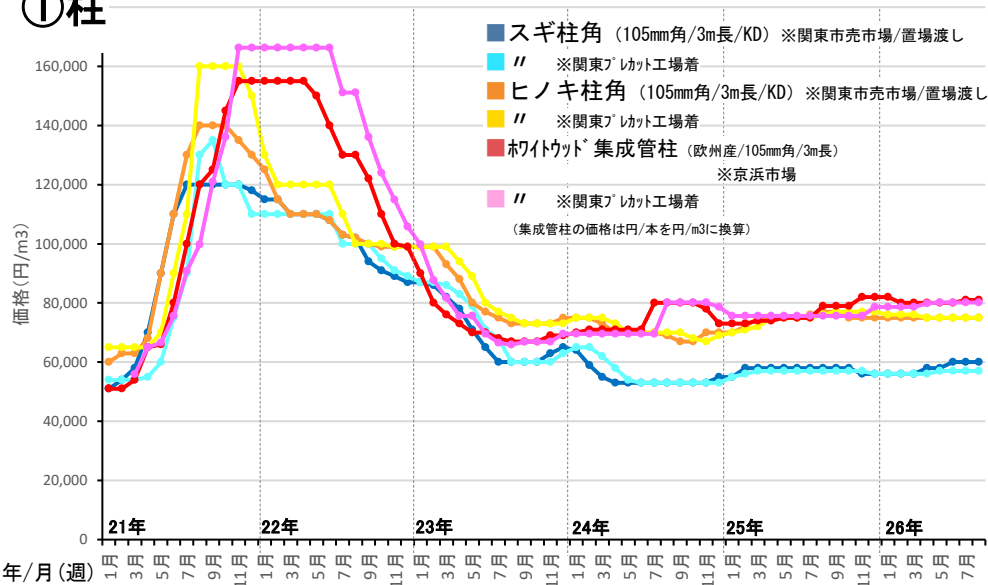
※各県8月の値を使用。

注：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。
資料：林野庁木材産業課調べ

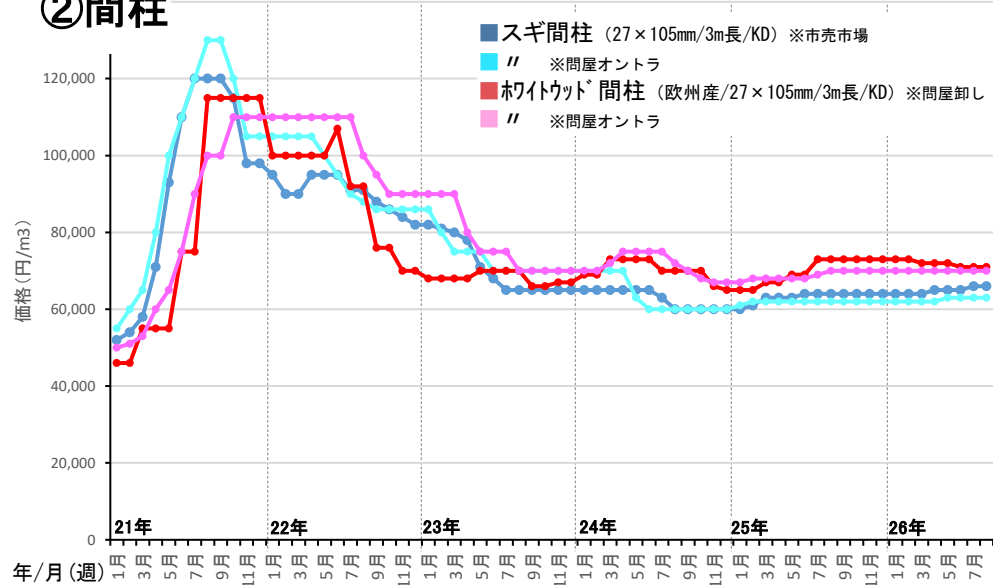
(2) 製品価格

- 令和3(2021)年は、世界的な木材需要の高まり等により輸入材製品価格が高騰し、代替需要により国産材製品価格も上昇。
- 令和4(2022)年以降、柱、間柱、平角の価格は長期的に下落傾向であったが、令和6(2024)年4月に入り概ね横ばいで推移しており、目立った上昇・下落は見られない。構造用合板の価格は令和8(2026)年3月までほぼ横ばいで推移していたが、4月以降、輸入・国産ともに上昇している。

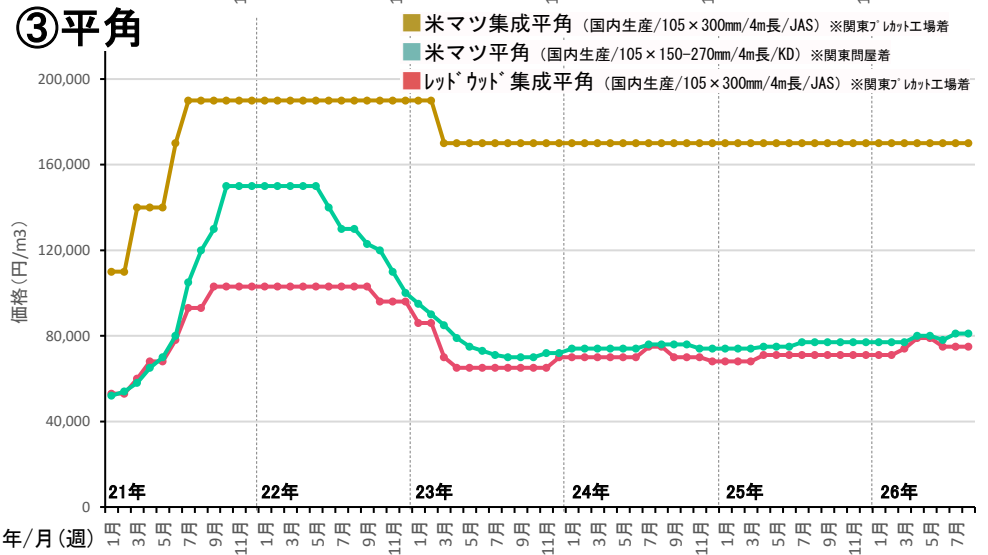
①柱



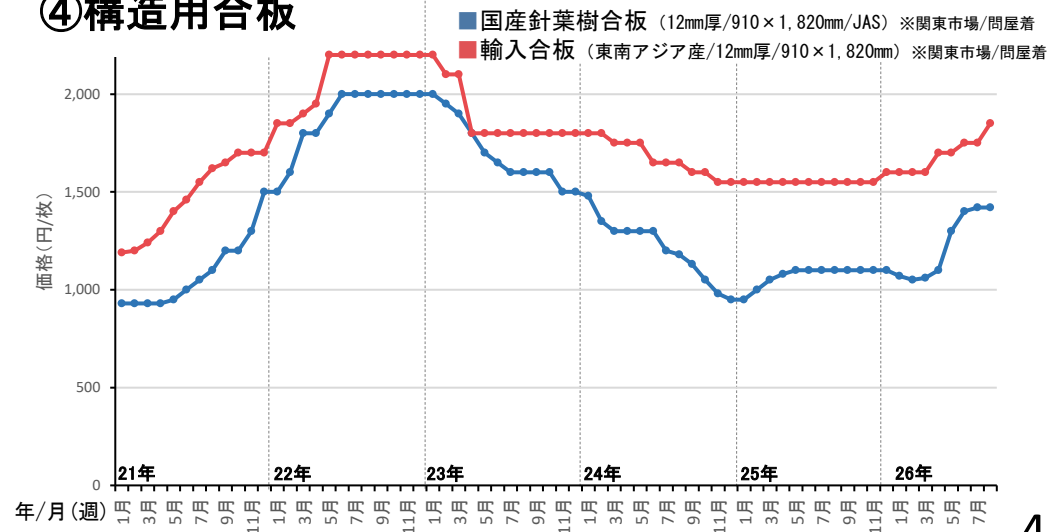
②間柱



③平角



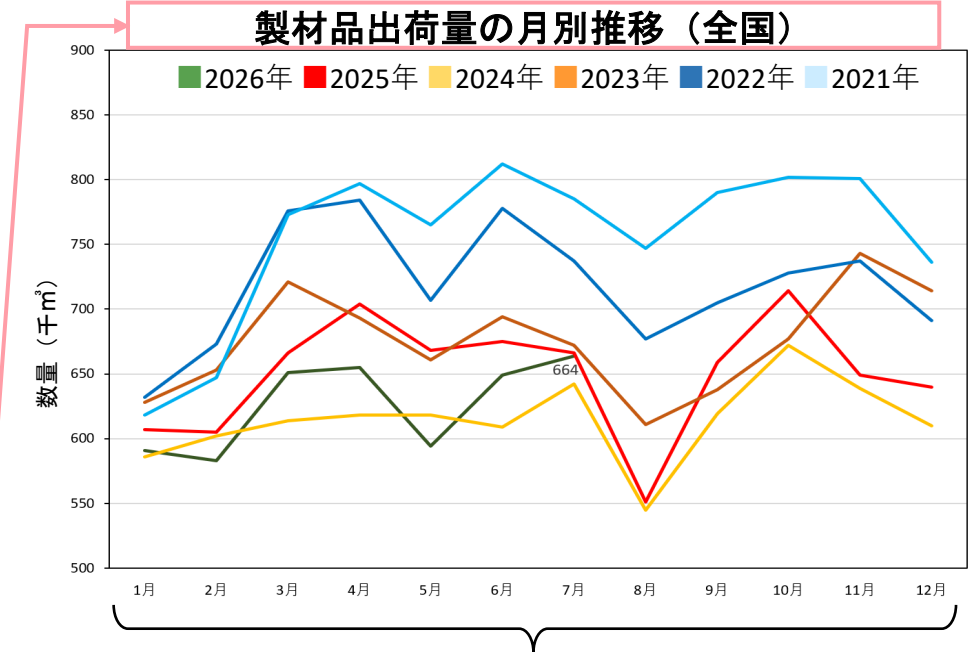
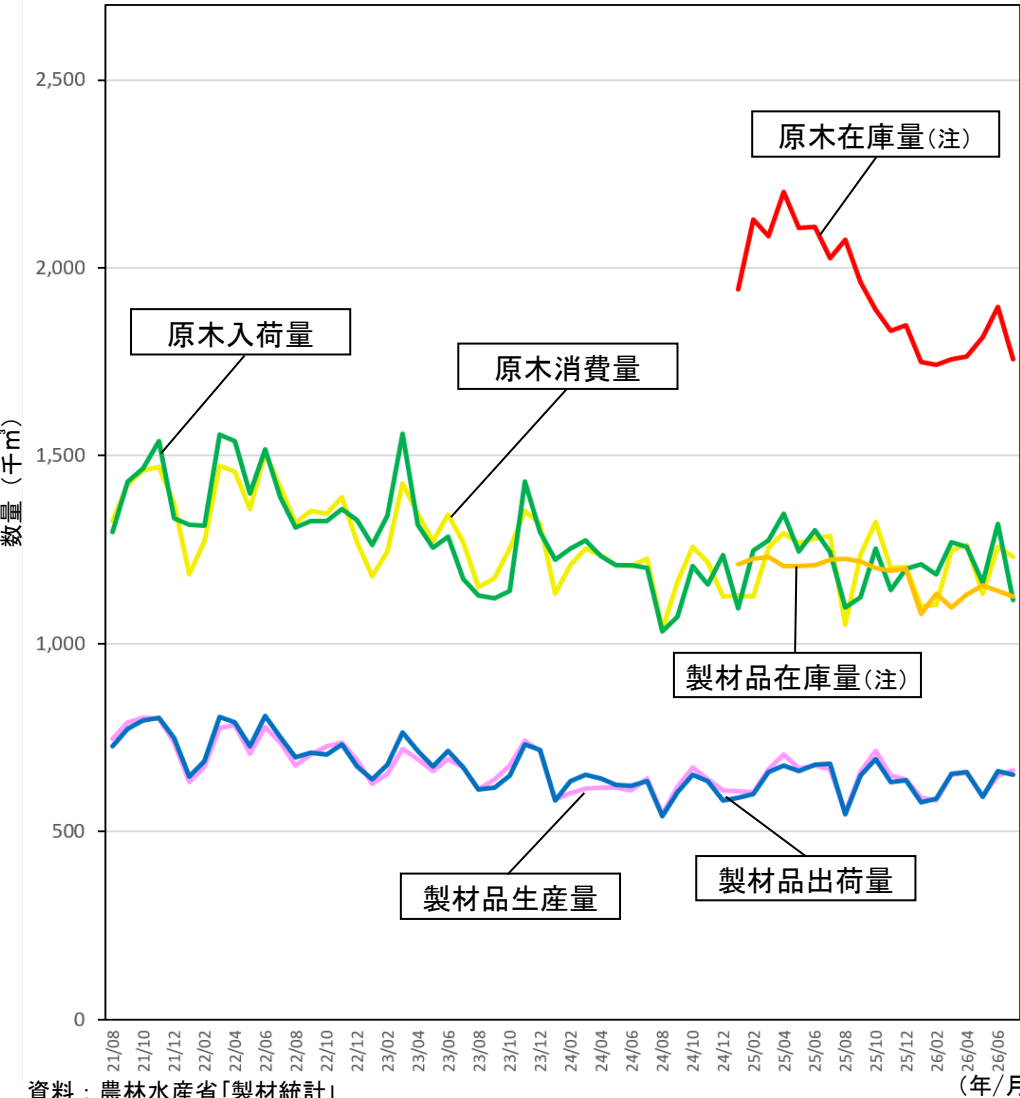
④構造用合板



資料：①②③④木材建材ウイクリー、①②日刊木材新聞

2 工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向
(1) 製材 (全国)

・ 2026年 1～7月の原木の入荷量は8,524千³m (前年比97%)、製材品の出荷量は4,387千³m (前年比96%) と、ともに前年を下回る。

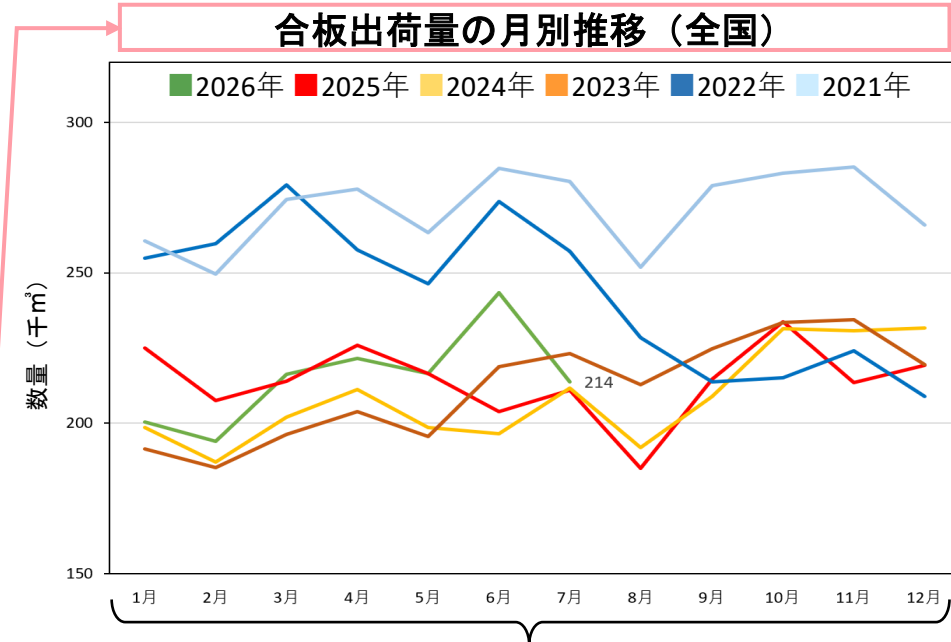
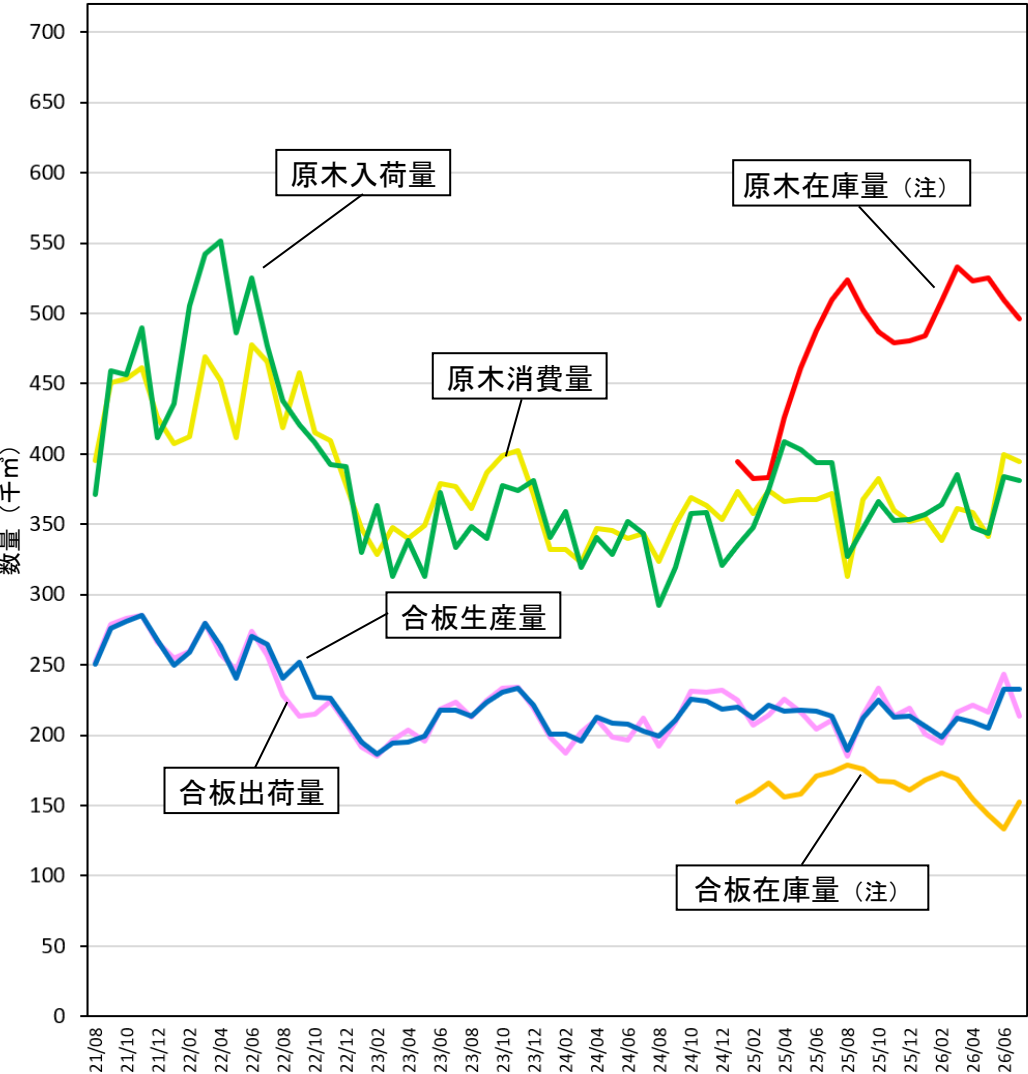


	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
1～7月原木入荷量合計(千 ³ m)	9,617	10,028	9,189	8,606	8,754	8,524
前年との比較	109%	104%	92%	94%	102%	97%
1～7月出荷量合計(千 ³ m)	5,197	5,087	4,722	4,289	4,591	4,387
前年との比較	110%	98%	93%	91%	107%	96%

資料：農林水産省「製材統計」
注) 原木在庫量、製材品在庫量については、2025年 1月から月末在庫量の算出方法が変更されたため、当該月から掲載。

(2) 合板 (全国)

- 2026年 1～7 月の原木の入荷量2,562千 m^3 （前年比96%）は前年を下回るが、出荷量1,506千 m^3 （前年比100%）は、前年並みとなっている。
- 製造用の接着材について、事業者への聞き取りによれば、当面の問題なく、安定的な供給が図られているが、価格は中東情勢前と比較して3割程度値上げとなっている。

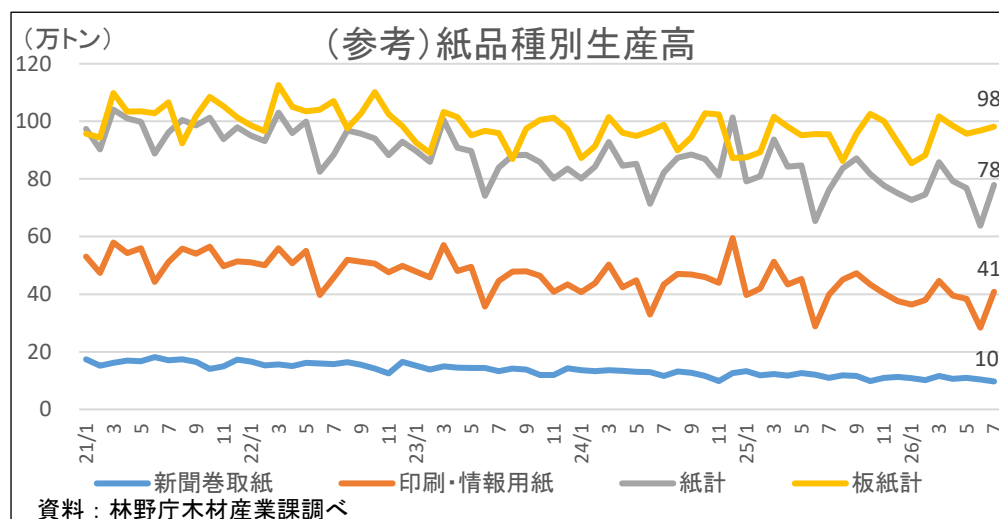
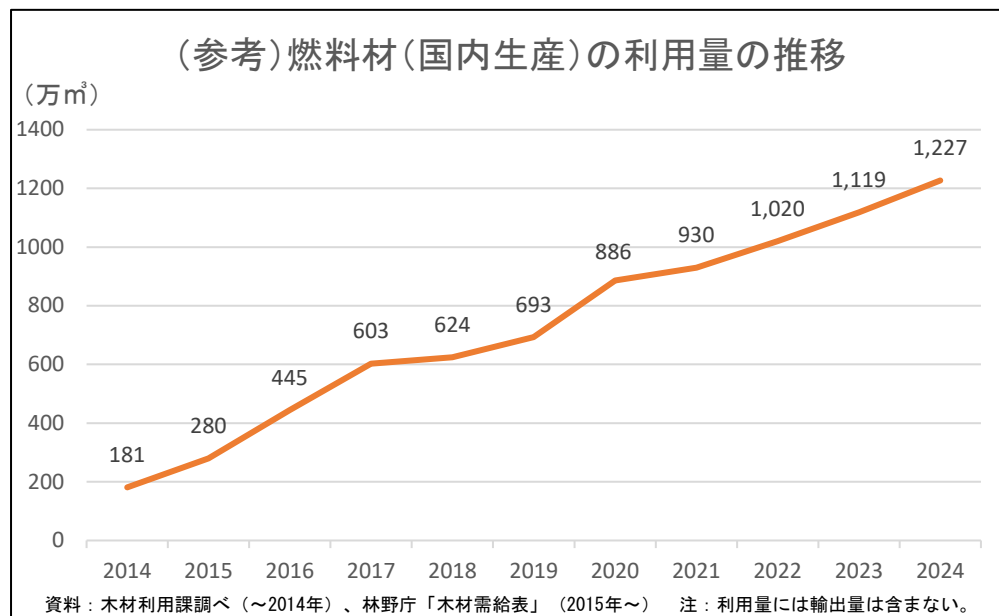
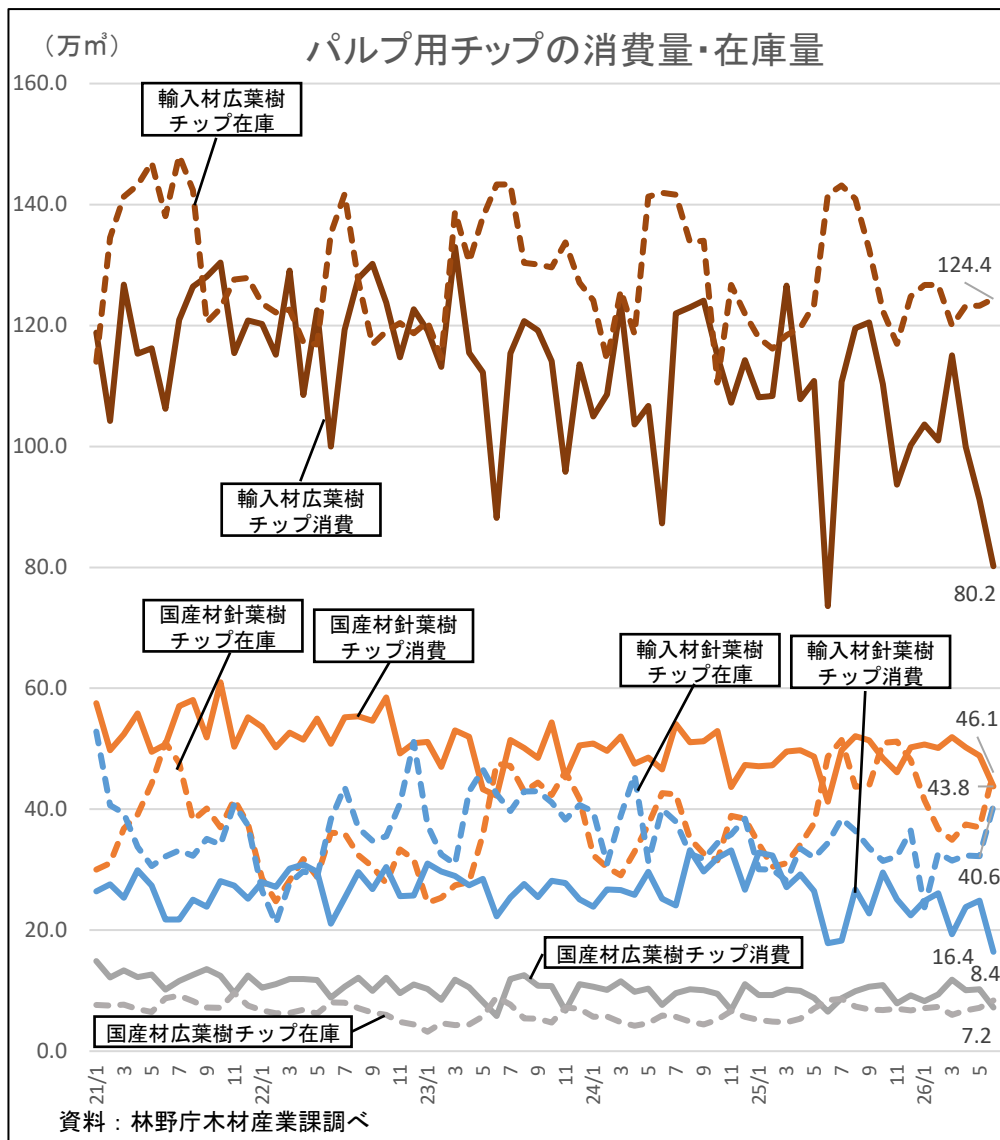


	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
1～7月原木入荷量 合計 (千 m^3)	2,985	3,522	2,363	2,384	2,657	2,562
前年との比較	110%	118%	67%	101%	111%	96%
1～7月出荷量 合計 (千 m^3)	1,890	1,828	1,414	1,406	1,504	1,506
前年との比較	111%	97%	77%	99%	107%	100%

資料：農林水産省「合板統計」
注) 原木在庫量、製材品在庫量については、2025年 1 月から月末在庫量の算出方法が変更されたため、当該月から掲載。

(3) チップ（全国）

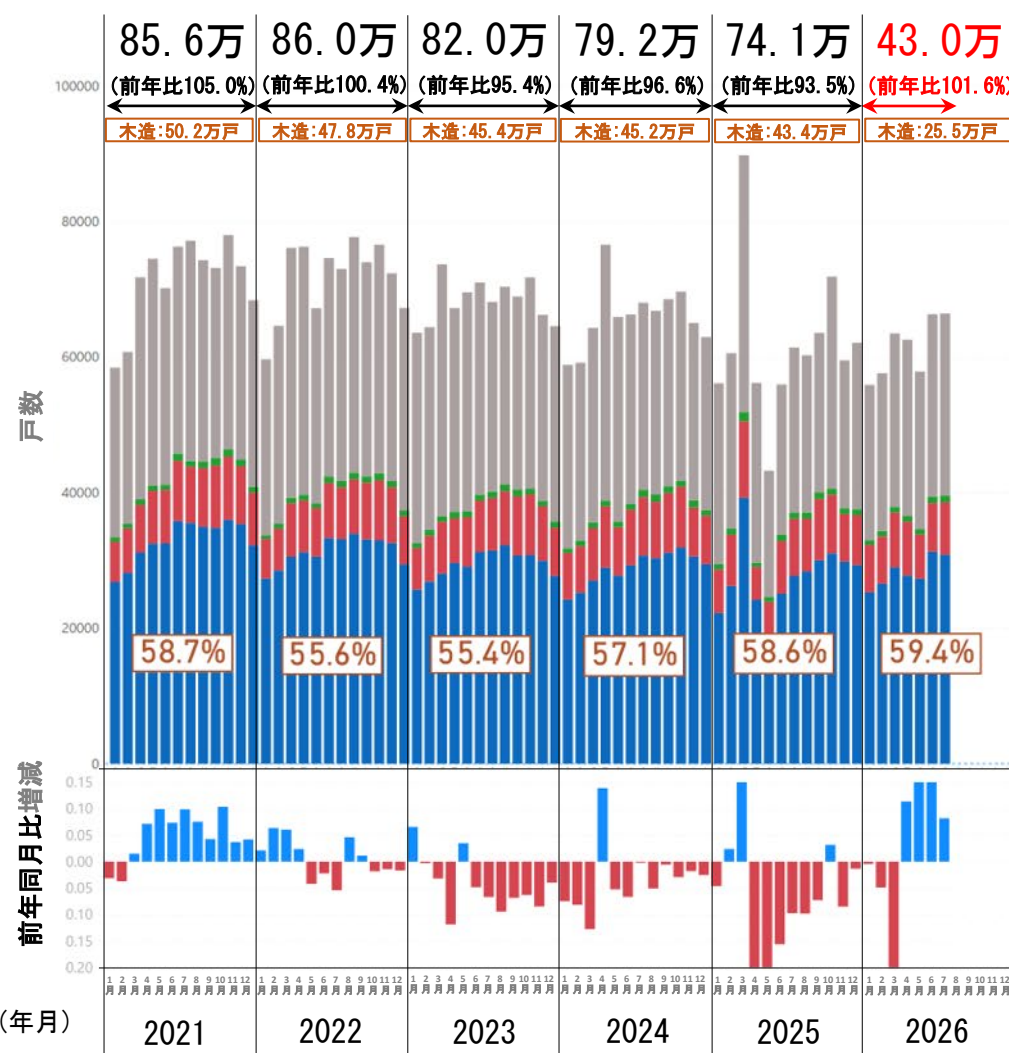
- パルプ用チップの消費について、2026年6月の輸入材広葉樹チップの消費量は80.2万 m^3 。国産材針葉樹チップの消費量は43.8万 m^3 となっている。
- 燃料材（国内生産）の利用量は、発電利用を中心に増加（過去10年間で約7倍）。



3 住宅着工戸数の動向 (1) 全国の住宅着工戸数 (2021年1月～2026年7月)

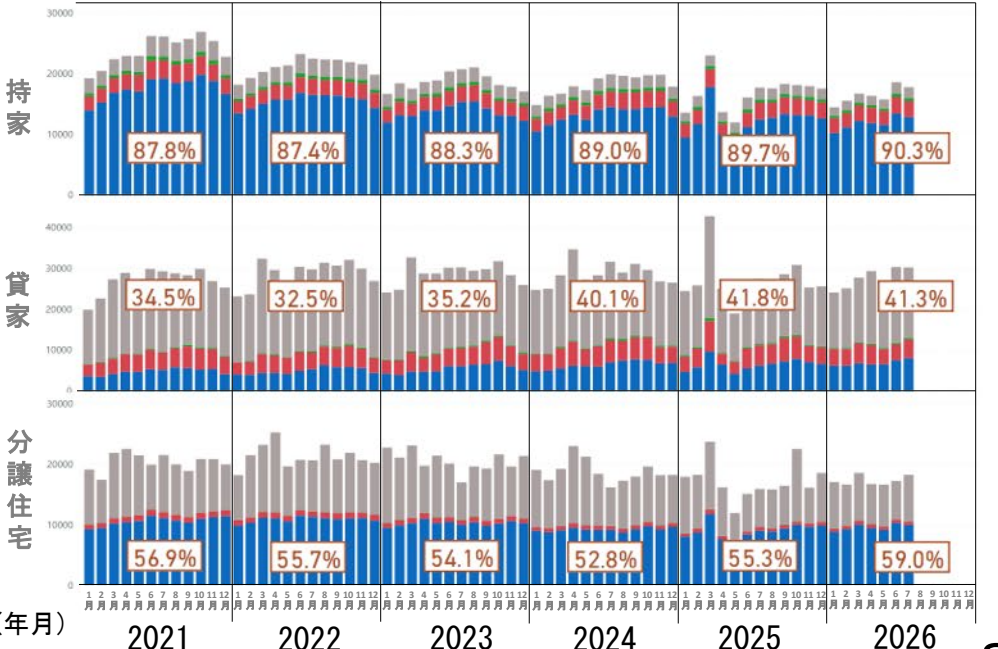
- ・ 2026年1月～7月の新設住宅着工戸数は43.0万戸（前年同期比101.6%）、このうち木造住宅は25.5万戸（同106.0%）。
- ・ 新設木造住宅着工戸数は上昇傾向にある。ただし、中東情勢に係る影響について、引き続き、注視が必要。

新設住宅着工戸数の推移



構造別の着工戸数	2026年 1月～7月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	430,252	423,309	101.6%	459,139	93.7%
■ 非木造	174,884	182,285	95.9%	205,565	85.1%
木造	255,368	241,024	106.0%	253,574	100.7%
■ 木造プレハブ	5,825	6,107	95.4%	5,890	98.9%
■ 2×4	51,536	51,613	99.9%	54,530	94.5%
■ 在来軸組	198,007	183,304	108.0%	193,154	102.5%
□ 木造率	59.4%	56.9%		55.2%	

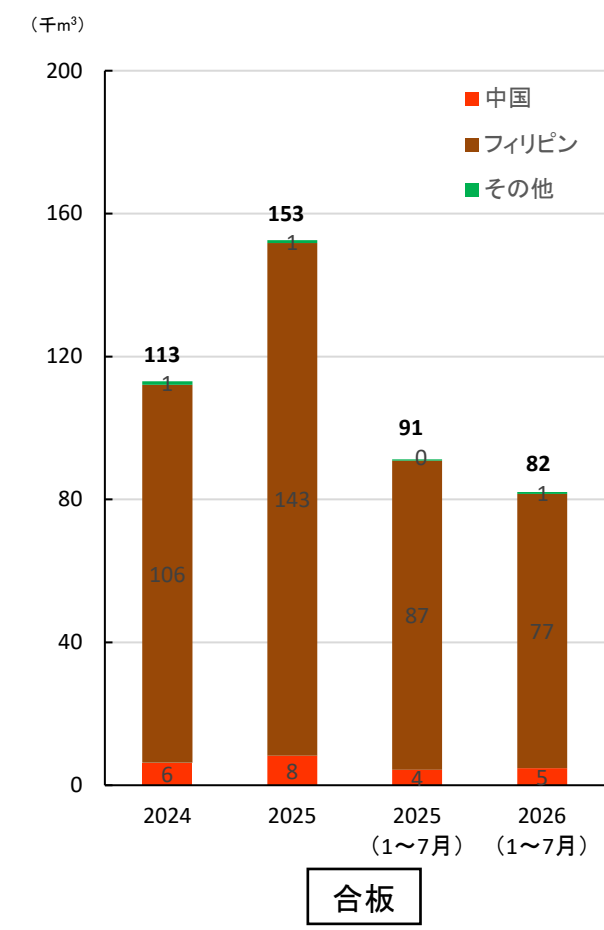
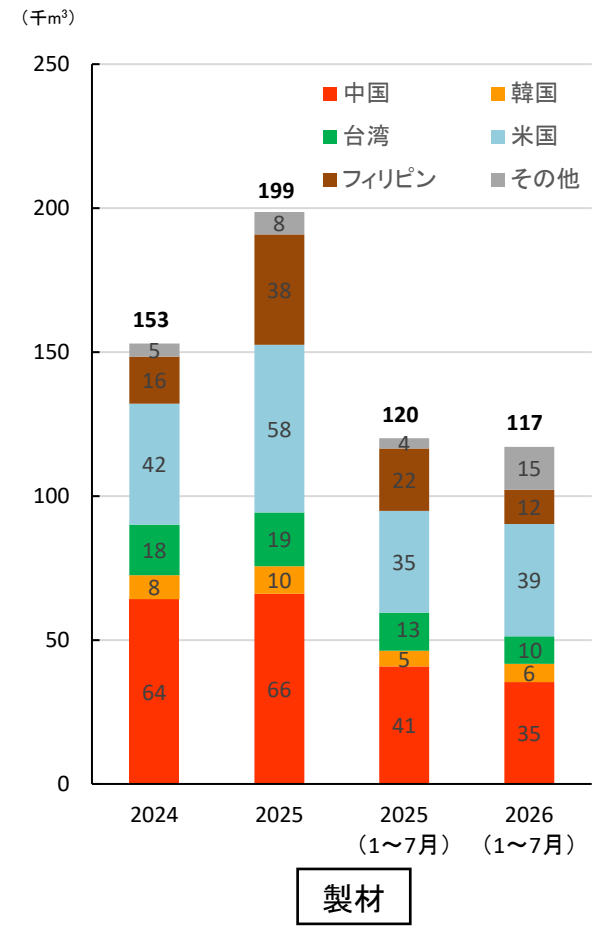
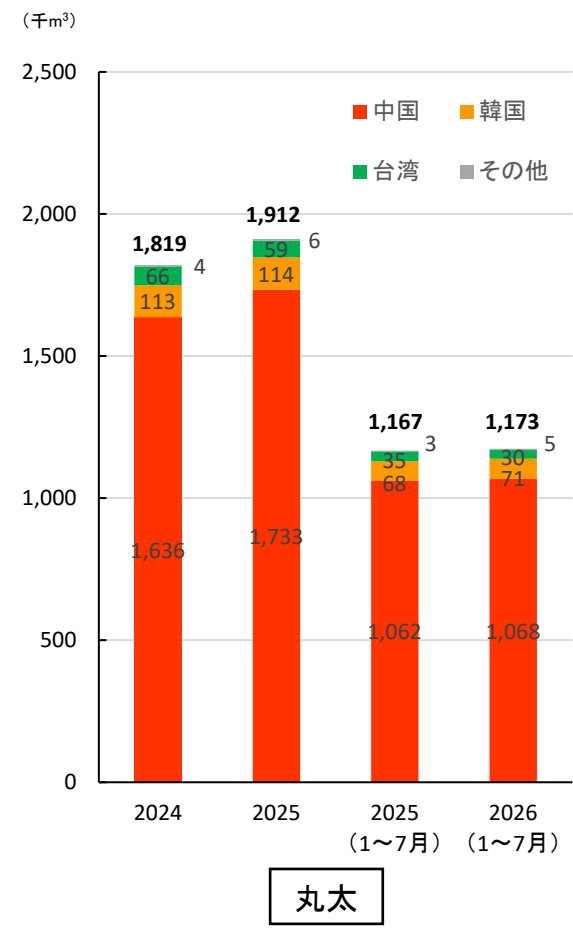
(参考) 利用関係別の着工戸数 (ただし、「給与住宅」を除く。)



資料：国土交通省「住宅着工統計」

4 木材輸出の動向

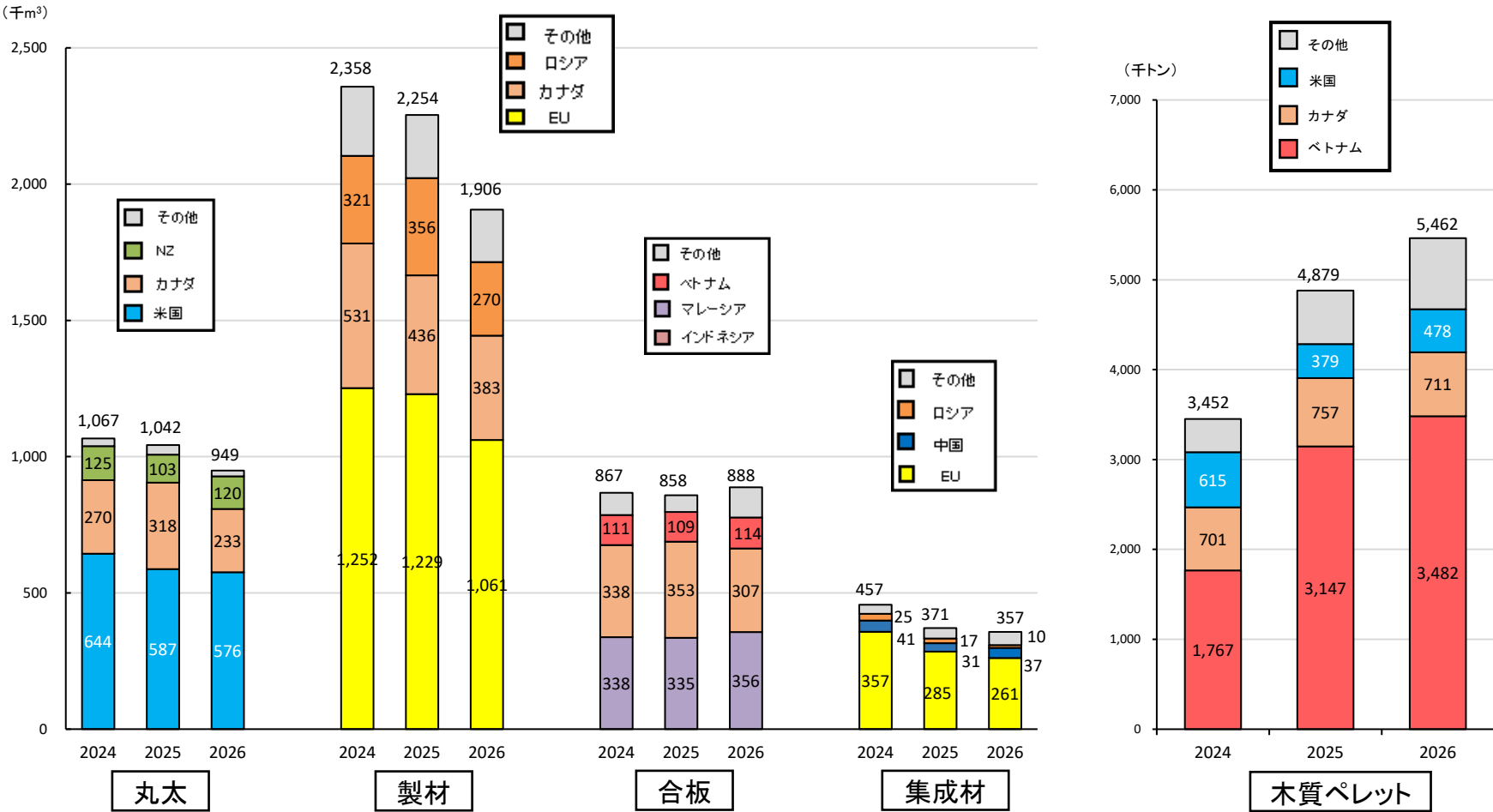
・ 2026年 1～7月の木材輸出量は、丸太1,173千 m^3 （前年同期比101%）、製材117千 m^3 （前年同期比98%）、合板82千 m^3 （前年同期比90%）となっている。



資料：財務省易統計
注：四捨五入により、数値が合わないことがある

5 木材輸入の動向

- 2026年 1～7月の木材輸入量は、丸太949千 m^3 （前年同期比91%）、製材1,906千 m^3 （前年同期比85%）、合板888千 m^3 （前年同期比103%）、集成材357千 m^3 （前年同期比96%）、木質ペレット5,462千 m^3 （前年同期比112%）となっている。



資料：財務省易統計
注：四捨五入により、数値が合わないことがある